

2026 年度 東京理科大学「火災安全科学研究拠点」
共同利用・共同研究公募要項

【重要】

本公募は、本拠点が文部科学省による共同利用・共同研究拠点として 2026 年度も認定を受けることを前提として実施するものです。2026 年度の拠点認定が継続されない場合には、本事業（共同利用・共同研究の実施、公募採択、研究経費の配分等）は中止または変更となる可能性があります。その場合、応募内容の審査結果や採択の可否に関わらず、研究の実施や支援を行うことができませんので、あらかじめご了承ください。

1. 趣旨

「火災安全科学研究拠点」は、2009 年に文部科学省より共同利用・共同研究拠点として認定され、学内外の研究者と協力し実施する共同研究を行っています。

本拠点では、東京理科大学における火災安全に関する研究・教育を推進するとともに、全国の大学等との共同研究及び共同利用に供し、その成果を公開することにより、我が国の火災安全研究・教育、次世代を担う学生・研究者の科学教育・研究の推進に寄与することを目的としています。

国内の知を集約させる役割を本拠点で担うことで、効率的かつ効果的な成果が期待されると同時に、多分野横断型の火災科学“理論”と大型実験施設による“実践”的対応を中心とした研究が実施され、火災被害損失の低減に大きく寄与することが期待されます。

本拠点では主に、最新の技術により実現される都市空間において増大する火災リスクの抑制に資することを目的とした研究を国内外から広く公募します。

2. 公募研究テーマ

以下に示す重点研究課題 A1 および A2、大規模実験研究課題 B、一般研究課題 C～H を公募します。

〔重点研究課題〕

A1：異常事象の発生予測に関する研究

内容：

火災において、状態が急激に変化する事象（ここでは異常事象と呼びます）が生じて被害が急拡大することがあります。例として、着火現象、燐焼から有炎燃焼への遷移、フラッシュオーバー、バックドロフトなどが挙げられます。これらの異常事象が発生する前に予兆を検知できれば、火災被害の抑制や消防活動のリスク低下につながることが期待されます。前年度に続き、2026 年度も幅広い観点から異常事象の発生予測に資する研究を募集します。

A2：火災科学分野の DX 推進

内容：

火災科学分野におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進は、実験・観測・シミュレーション・データ解析を統合し、研究開発の効率化と新たな価値創出を実現する上で重要です。センサーや可視化技術によるデータ取得の自動化、AI・機械学習を活用した火災挙動解析などがその一例です。2026 年度は、火災現象の理解・評価・予測の高度化を目指して、DX 技術を活用した研究を幅広く募集します。

[大規模実験研究課題]

B. 建築物の構造耐火性等に関する実験的研究（※）

（※）大型壁炉、多目的水平載荷加熱試験装置を使用する等の大規模実験を伴う課題

[一般研究課題]

C. 建築火災安全に関する基礎的研究

D. 材料燃焼科学に関する基礎的研究

E. 消防防災に関する基礎的研究

F. 大規模火災に関する基礎的研究

G. 火災安全・リスク評価に関する基礎的な研究

H. その他（火災の科学および技術の発展に資する研究）

3. 採択予定件数

重点研究課題 1～2 件

大規模実験研究課題 1 件

一般研究課題 数件

4. 共同研究期間

2026 年 4 月 1 日（採択決定日）から 2027 年 3 月末日までの 1 年間

5. 申請資格者

研究代表者は、国内外の大学の教員その他研究機関に所属する研究者または火災安全科学研究拠点長がこれと同等の研究能力を有すると認める者で、火災安全科学に関係のある研究に従事している者とします（博士同等以上と認められる研究者が望ましい）。

共同研究者には、技術職員、大学院生を含めることができます。なお、同じ研究代表者による申請の上限は 1 件となります。

6. 所用経費

必要な経費は、以下を上限として、申請に基づき決定した予算の範囲内において本拠点が直接負担します。

重点研究課題	750,000 円
大規模実験研究課題	2,000,000 円
一般研究課題	750,000 円

[対象経費]

- ・ 火災科学研究所実験棟で行う実験に必要な人件費、消耗品費等
- ・ 実験装置の整備、試験体製作に係る費用
- ・ 東京理科大学までの研究代表者及び共同研究者の往復交通費
- ・ 研究代表者及び共同研究者の東京理科大学宿泊施設利用料
- ・ その他拠点長が必要と認めた経費

[対象とならない経費]

- ・ 研究成果の報告・公開に関する費用
- ・ 火災科学研究所実験棟以外の場所で使用する消耗品費等
- ・ 東京理科大学以外の場所への旅費

7. 宿泊施設

研究代表者及び共同研究者は、本学の宿泊施設【1泊 3,000 円/シングル】を利用するこ
とができます。本拠点へお申し込みください。

※各自でホテル等の宿泊施設を手配する場合、宿泊費は各自でご負担ください。

8. 採択基準

公募課題選定委員会において次の基準に基づき審議します。

- ・ 火災科学研究所の施設利用の必要性
- ・ 研究内容・目的の明確性
- ・ 研究計画および研究方法の妥当性
- ・ 研究論文など成果の公表、特に国際的なジャーナルへ投稿の可能性
- ・ 国際的な視点
- ・ 他の競争的外部資金を重複申請している場合、重複の必要性
- ・ 継続課題については、実績を考慮（成果報告概要も含む）

9. 採否

2026 年 4 月上旬（予定）

研究代表者に電子メールにて通知いたします。

10. 申請期限

2026年3月6日（金）必着・期日厳守

11. 申請方法

本拠点ホームページ (https://gcoe.tus-fire.com/joint/open_recruitment/)から、共同研究申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、下記提出先に電子メールにて提出して下さい。

[提出先] E-mail: kasaianzen-ml@tusml.tus.ac.jp

東京理科大学 野田研究推進課 石原
〒278-8510 千葉県野田市山崎 2641
TEL : 04-7122-9151 / FAX : 04-7123-9763

12. 応募に際しての注意事項

- 1) 採択された場合は、研究代表者、及び共同研究者の所属機関は、「東京理科大学研究推進機構 総合研究院 共同利用・共同研究拠点 利用約款」に基づく「共同利用・共同研究実施承諾書」(様式1)の提出が必要となりますのであらかじめ所属機関の承諾を得てください。
- 2) 応募に際しては、申請時に所属機関の内諾を得て本研究所の教員とあらかじめ研究題目、施設使用予定時期、必要経費等の事項について相談の上、申請願います。
- 3) 1年を限度に継続できますが、「継続課題」として再度申請してください。

13. 研究成果の公開

研究成果は公開を原則とします。

研究代表者は、研究期間終了時に「研究成果概要報告書（和文・英文）」を提出し、本学が主催する「成果発表会」にて研究実績の報告を行います。「研究成果概要報告書」はホームページ等にて公開します。

また、本研究に基づく研究論文などは、本学が刊行している「International Journal for Fire Science and Technology」への投稿をお願いします。他のジャーナルなどに研究論文を発表する場合、以下のとおり「東京理科大学 火災科学研究所」との共同研究である旨を記載し、別刷1部を提出願います。

東京理科大学 総合研究院火災科学研究所 「火災安全科学研究拠点」	“Research Center for Fire Safety Science,” Center for Fire Science and Technology, Research Institute for Science and Technology, Tokyo University of Science
共同利用・共同研究拠点	Joint Usage/Research Center

14. 問合せ先

共同研究公募に関する詳細は下記までにお問い合わせ下さい。また、新しい研究課題の提案をお持ちの方、あるいはそれをどのように進める事が出来るのか分からぬ場合などの相談にも対応いたします。

[連絡・相談窓口] 東京理科大学 総合研究院 火災科学研究所
 担当者：松山 賢
 〒278-8510 千葉県野田市山崎 2641
 TEL : 04-7124-1501 (内線 5032) FAX : 04-7123-9873
 E-mail : kmatsu@rs.tus.ac.jp